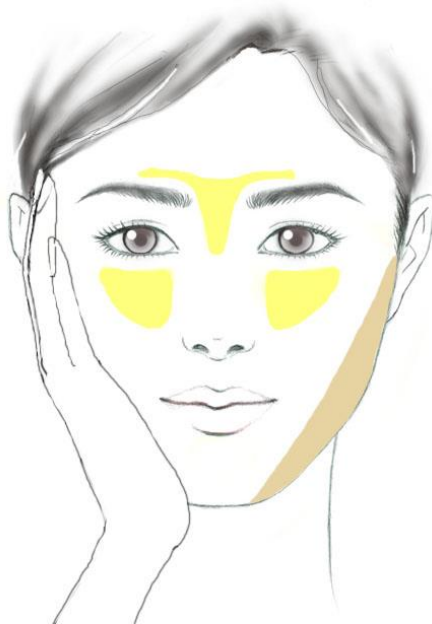


コントゥアリングメイク

—自分らしい骨格の美しさを引き立てる—

株式会社カネボウ化粧品



「コントゥアメイク」という言葉を聞いたことはありますか？「コントゥア (contour)」とは、“輪郭”という意味です。フェースラインをすっきりと見せる、目鼻立ちのはっきりとした印象をつくるメイクとして2014年ごろから海外のインスタグラムなどで流行り始め、日本でも2016年ごろから若い人の中で注目されています。

とはいえ、大人女性の望みは、“外国人”のような顔立ちになりたいというよりも、自分の顔を自然な印象で美しく見せたいということではないでしょうか？

そこで今回は、カネボウ化粧品美容研究所のメイクアップアーティスト 平尾 清香 (ひらお すみか) が、顔の骨格をほどよく修正して、自分らしい立体感を美しく演出するメイクのワンポイントをご紹介します。

<アイテム>

「コントゥアメイク」用のアイテムとして、さまざまなものが市販されていますが、簡単に使えるのはハイライト用とシェーディング用のパウダーのセットです。

お手持ちの化粧品で代用するなら、「ハイライト」は白っぽく明るい色味で、ツヤのある薄付きなもの。「シェーディング」は、パール感がなく、ファンデーションを濃くしたような、色味を感じさせないベージュブラウンを選びましょう。パール感 (キラキラした質感) や、強い色味 (赤みや黄みなど) を使うと、その部分が強調され目立ってしまいます。「コントゥアメイク」は、まるで自分の骨格がもともとそうだったかのような自然な印象につくりこむのが目的です。



HOW TO

① フェースライン (輪郭) をすっきり見せる

最近、SNSなどで、顎から耳の前を手のひらで覆うようにしているポーズをよく見かけます。通称“虫歯ポーズ”と呼ばれるこのポーズは、フェースライン (輪郭) を隠すことで“小顔”に見せる効果があります。

そこで、これを応用して、まずは鏡に向かってご自分の顔で“虫歯ポーズ”をつくってみましょう。人によって骨格や顔立ちが違うので、自分好みの“小顔”に見える、ちょうどよい角度や隠す範囲を探してみてください。

手の位置が決まったら、早速コントゥアメイクを行っていきましょう。鏡を見て、手で隠れていない頬の部分に「ハイライト」を入れます。次に、手で覆っていた部分に、外側から内側に向かって影となる「シェーディング」を入れたら、頬のコントゥアメイクが完成です。

② 知性を感じさせる額と美しい鼻すじ

額は、知的なイメージや女性の寛容さを表現するパーツです。全体的に丸みをおびたなめらかな額に整えることで、顔全体の雰囲気も変わります。そのためには、自分の額を鏡で見るだけでなく、手で触ってみましょう。凹んでいるところ、影になっているところがあれば、そこにまずハイライトを入れます。次に、額全体につなげるようにブラシでひとなですると、つるとなめらかに仕上がります。

また、平均的な日本人女性の鼻は、さほど高くありません。特に、眉間よりも鼻の付け根が低く、奥まっている人も多いでしょう。そんなときは、額からなだらかにつながる、すっとした鼻筋を「ハイライト」でつくってみましょう。

自分の鼻すじを手で触ってみて、一番凹んでいる部分に「ハイライト」をのせていきます。まずは、「ハイライト」をブラシにとって一番低い部分に置き、眉間に向かってひとはけ。さらに眉間の方向から鼻すじに沿って下方向にすべさせます。こうすることで、凹んでいる部分がカバーされ、あたかももともと鼻が高かったような、すっとした鼻すじを演出できるのです。

「コントゥアメイク」で一番大切なのは、わからないくらいに自然に仕上げることです。手鏡で見たとき、「ハイライト」や「シェーディング」をのせた部分が明らかにわかるのはNG。

フェースライン、額と鼻すじという2つのステップで、大人女性にも、まるでもともとの骨格がそうであったかのような“美しい顔立ち”を手に入れていただければと思います。